

# Ampeg®

## Heritage

### SVT-CL

クイックスタート・ガイド

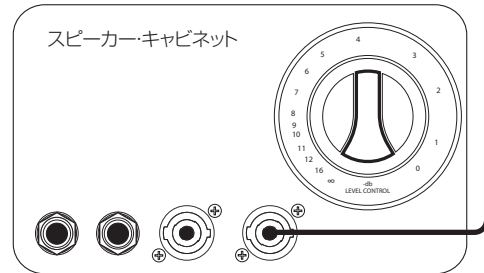
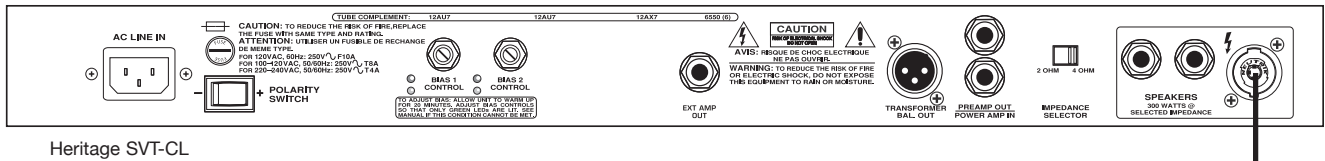


# 同梱品

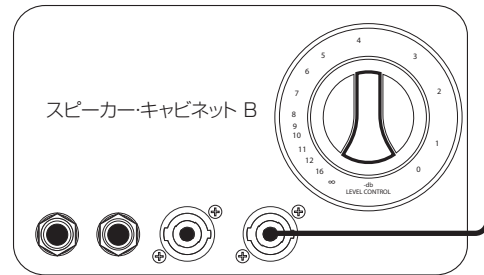
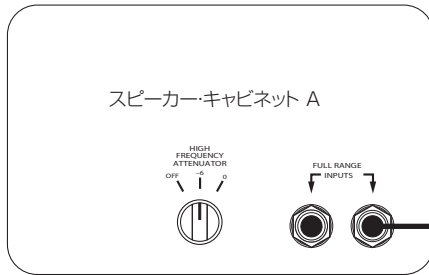
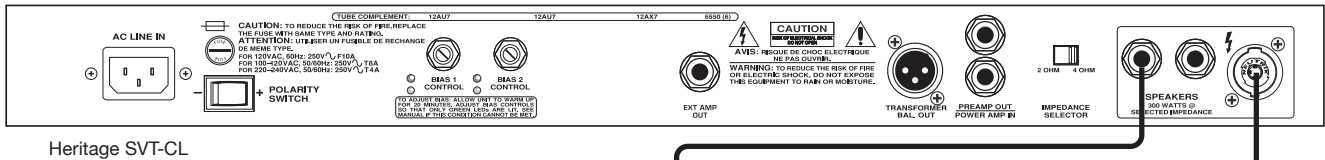
Heritage™ SVT®-CLアンプ, 電源ケーブル, クイックスタート・ガイド

# 接続例

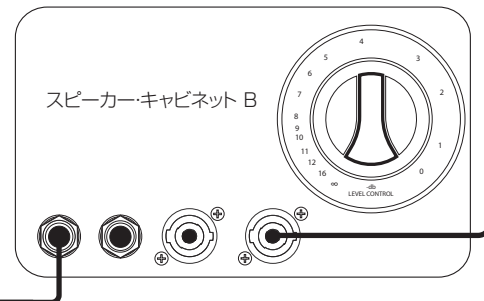
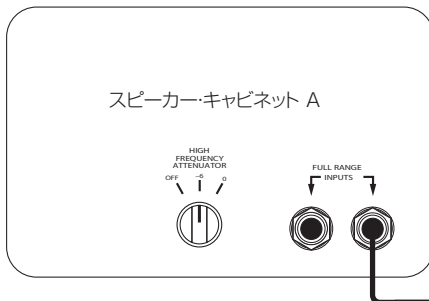
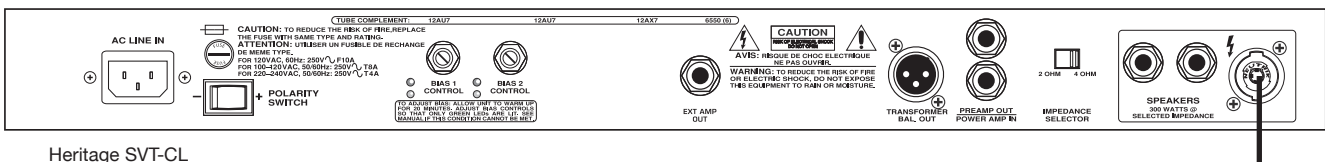
## スタンダードなセットアップ



## パラレル接続



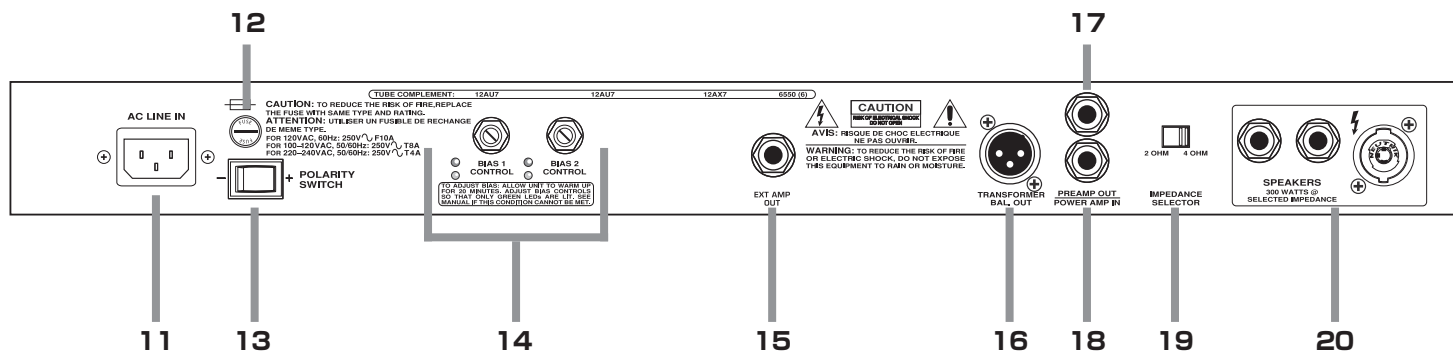
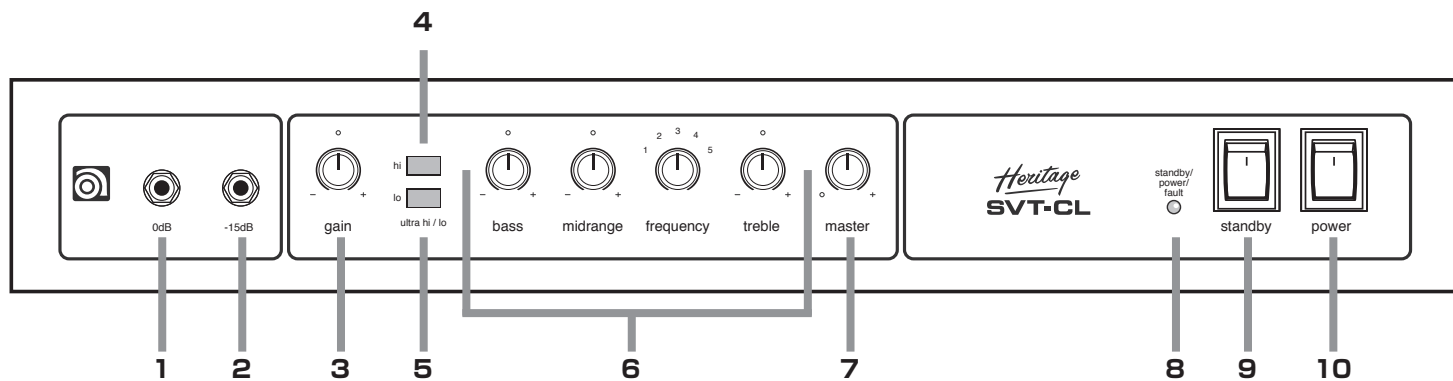
## デジチェーン接続



**注意:** パラレル接続及びデジチェーン接続の場合は、同じインピーダンスのキャビネットを使用してください。

全てのセットアップにおいて、アンプのSpeakon®出力を使用してキャビネットのSpeakon入力へ接続することが推奨されていますが、アンプの6.3mm出力を使用してキャビネットの入力に接続することも可能です。

# フロント&リアパネル



## フロント&リアパネルの詳細

1. **0dB入力端子:** この入力端子にパッシブ・インストルメントを接続します。
2. **-15dB入力端子:** この入力端子にアクティブ・インストルメントを接続します。
3. **GAIN:** プリアンプに送る信号強度を調整します。
4. **ULTRA HI:** 高域出力を強調します。
5. **ULTRA LO:** 低域出力を強調します。
6. **BASS/MIDRANGE/FREQUENCY/TREBLE:** 特定の周波数域のレベルをブースト、またはカットしてサウンドを強調します。
7. **MASTER:** 全体の出力レベルを調節します。
8. **STANDBY/POWER/FAULT インジケーター:** 多機能LEDの赤色の点灯はStandbyモードを示し、緑色の点灯は電源がオンの状態を示し、アンプがエラーを検知すると赤色と緑色で交互に点滅します。
9. **STANDBY スイッチ:** Standbyモードのオン/オフを切り替えます。Standbyモードでは真空管を暖めたり、高電圧を加えずに熱を保つことができます。
10. **POWER スイッチ:** システム全体の電源のオン/オフを切り替えます。
11. **電源コネクター:** 同梱の電源ケーブルをこのIEC端子に接続します。
12. **ヒューズ:** 過負荷防止制御及びACライン保護。
13. **POLARITY SWITCH:** バズ音を除去します。
14. **BIAS CONTROL 1/2:** これら2つのコントロールとLEDを使用することにより、パワーアンプを的確にバイアスすることができます。
15. **EXT AMP OUT:** この端子を使用して本機のプリアンプから別のアンプへ信号を供給します。
16. **BAL. OUT:** 外部に接続したミキサーまたは録音機器へ供給します。
17. **PREAMP OUT:** 外部パワーアンプと共に使用するためのプリアンプのダイレクト出力端子。
18. **POWER AMP IN:** 外部プリアンプと共に使用するために直接内蔵パワーアンプに接続します。
19. **IMPEDANCE SELECTOR:** このスイッチを使用して、アンプの出力インピーダンスをスピーカーに合わせます。
20. **SPEAKERS出力端子:** スピーカー・キャビネット接続用Speakon/6.3mm TS 出力端子。

## はじめに

1. 同梱の「安全上のご注意」をよくお読みください。
2. 接続を行う前に、必ずPOWER及びSTANDBYスイッチが両方とも「下」向きの位置にあることを確認してください。
3. アンプのIECコネクターに電源ケーブルをしっかりと差し込み、ケーブルのもう一方の端をアース付き電源コンセントに差し込みます。アンプはIECコネクタ付近に記載されている適切な電圧を受け入れます。
4. 楽器は接続ケーブル（シールドタイプ）を使用して6.3mm端子に接続します。Speakonまたは6.3mm TS プラグ付き（非シールド）スピーカーケーブルをスピーカー・キャビネットに接続します。
5. MASTER及びGAINコントロール類は全てオフにした状態で、POWERスイッチの上部を押してオンにします。POWER LEDが点灯します。30秒間待ちます。
6. STANDBYスイッチの上部を押してStandbyモードを終了します。
7. 楽器を弾きながら、GAINとMASTERノブで好みのレベルに調節します。
8. EQノブやスイッチを使用して好みの音質に調節します。

## 技術仕様

	Heritage SVT-CL
プリアンプ・チューブ	2x 12AX7
ドライバー・チューブ	1x 12AX7, 2x 12AU7
パワーアンプ・チューブ	6x 6550
定格出力	300W RMS @ <3% THD @ 2Ω または 4Ω
S/N比 (20Hz~20kHz)	80dB
最大ゲイン	67dB @ 1kHz -3dB @ 40Hz & 15kHz
電源の必要条件	120V AC, 50~60Hz, 460W 100V AC, 50~60Hz, 460W 230V AC, 50~60Hz, 460W 240V AC, 50~60Hz, 460W
寸法(H x W x D)	292 x 610 x 330mm
重量	36,3kg

製品の仕様は変更されることがあります。



## 保証とサポート

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com)へアクセスしてください。

- (1) お客様が製品を購入した地域で受けることのできる保証内容について確認することができます。購入した際のレシートは大切に保管してください。
- (2) 購入された製品のオーナーズ・マニュアルの完全版(英語版)を取得し、印刷することも可能です。
- (3) 購入された製品を登録することができます。
- (4) テクニカルサポートへ問い合わせることができます。

## ご購入・お取扱いに関するお問い合わせ窓口

ヤマハミュージックジャパンお客様コミュニケーションセンター

ギター・ドラムご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570 - 056 - 808

上記番号でつながらない場合は053 - 533 - 5003におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールWebフォーム:

ヤマハ日本語HPホーム > サポート > お問い合わせ > 楽器お問い合わせ > ギター・ベース・ドラム

## 修理に関するお問い合わせ窓口

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570 - 012 - 808

上記番号でつながらない場合は053 - 460 - 4830におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールWebフォーム:

ヤマハ日本語HPホーム > サポート > 修理相談 > その他商品 (BODIBEAT、TENORI-ON等 電気音響商品)

## 輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

LM営業部 ギター営業推進課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03 - 5488 - 6195

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com)  
Yamaha Guitar Group, Inc.  
26580 Agoura Road, Calabasas, CA 91302-1921 USA  
Part No. 40-00-0526 Rev. C



ヒューズには様々な種類があり、異なった種類と交換すると動作不良や感電、火災の原因になる可能性があります。交換するヒューズは必ず電気定格及び仕様のものを使用してください。各数字と記号は次を表しています。

例:T3AL250Vの場合

① T ② ●A ③ L ④ ■V について以下に示す。

① 相対的溶断時間/電流特性を示す記号

T:タイムラグ型、F:速断型を示す。

② ●A:定格電流。

③ 遮断容量を示す記号

L:低遮断容量、E:中遮断容量、H:高遮断容量を示す。

④ ■V:定格電圧。

© 2021 Yamaha Guitar Group, Inc. 無断複製禁止

Ampeg、Ampegロゴ、Heritage及びSVTは米国及び他の国々で登録された、Yamaha Guitar Group, Inc.の登録商標です。SpeakonはNeutrik AG Corporationの登録商標です。

シリアルNo: \_\_\_\_\_